

様式第3号（第7条）

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称
水戸市上中妻市民センター運営審議会
- 2 開催日時
平成30年7月5日（木） 13時30分から14時30分まで
- 3 開催場所
上中妻市民センター 集会室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
飯村 正夫, 本田 とも江, 菅野 耕司, 雪竹 環, 藤田 雅俊, 石塚 昌義
 - (2) 執行機関
斉藤 博之, 中島 幸恵
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 平成29年度上中妻市民センター事業並びに利用状況について（公開）
 - (2) 平成30年度上中妻市民センター運営方針及び重点目標について（公開）
 - (3) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数
なし
- 8 会議資料の名称
平成30年度第1回水戸市上中妻市民センター運営審議会

9 発言内容

- 執行機関 平成 30 年度第 1 回市民センター運営審議会の開会を宣する。
委嘱状交付。
- 執行機関 水戸市市民センター条例第 10 条について説明する。
水戸市市民センター条例第 7 条により、委員の互選による正副委員長の選任を願う旨説明する。
委員互選により、____委員を会長、____委員を副会長に選出する。
- ____会長 挨拶。
議事録署名人の選出。「____委員、____委員」
協議の（1）へ入る旨を宣し、執行機関に説明を求める。
- 執行機関 協議（1）平成 29 年度上中妻市民センター事業並びに利用状況についての説明
- ・市民センター主催による事業報告（資料 2 頁①），
 - ・地区住民の会・市民センター共催による事業報告（資料 3 頁②）
 - ・地区高齢者クラブ連合会・市民センターとの共催による事業報告（資料 4 頁③）
- これらの各事業を、講座名や開催日、参加人数等を報告した。
- ・平成 29 年度の 4 月から 3 月末までの利用状況を、利用団体別、部屋別に集計した（資料 5、6 頁）
- ____議長 質疑に入る旨を宣する。
- ____委員 図書室の図書についてだが、歴史の学習まんがなどは置けないのか。
- 執行機関 図書については、母体が市立図書館であり、図書館で選定したものを市民センターの図書室に置いている。図書館にあるものについては、センターに置くことは可能と認識している。
- ____委員 センターの図書室の本は表紙なども古くなっており、みてみようという気にならない。逐次変えてもらえれば、見る気になるのではないか。
- 執行機関 場所に限りがあり、図書館のように充実させるのは難しいが、図書については要望があればあるかどうかの確認はできる。
- ____委員 学校の図書館も同じく市立図書館が巡回し、図書を配置している。古い本も多いが、比較的充実している。
- ____委員 今は移動図書館はあるのか。何回か借りるとスタンプがもらえるシステムがあったようで、子供が楽しみにしていた。
- 執行機関 今はやっていない。
- ____議長 他に質問はないか諮り、異議なしの発言あり。（議長：承認の旨の発言）
引き続き協議（2）について、執行機関に説明を求める。

執行機関 協議（２）平成 30 年度上中妻市民センター運営方針及び重点目標についての説明

本来であれば、年度の 1 回目の運営審議会で承認いただくものであるが、前年度にすでに承認をいただいている。今回審議委員の改選があったので、改めて報告申し上げます。

事業計画についても前回承認いただいているため、今回参考資料としてつけさせていただきます。

運営方針及び重点目標については水戸市の市民センターで統一されたものとなっている。

____議長 質疑に入る旨を宣する。

____委員 地域防災活動の拠点としてという部分であるが、以前所長にもお願いしたことだが、東日本大震災の時、常磐線が羽鳥駅の近くで走行不能になり近くの小学校に乗客が避難してきたことがある。非常に混乱を招いたと聞いている。上中妻でも常磐線が近いため、起こりうると考えている。先日小学校で引き渡し訓練を行ったが、児童全員が帰宅するのに 1 時間で終わらなかった。ほとんどの児童が帰宅したのが 40 分。震災時にいた中学校では 3 時半に引き渡しを始めて、生徒全員が帰宅したのが 8 時半であった。あのサイズの体育館で児童の引き渡しを確実にいき、常磐線からの避難者を受け入れるとなるとセキュリティ上問題があるのではないかと考える。中学校では市民センターがすぐ隣にあり、センターの職員が体育館にきて、入り口を分け、センター職員で避難者を、学校職員で生徒をとという形で対応した。体育館が大きかったため何とかやりきれたが、上中妻小学校の体育館のサイズでは無理と考えている。引き渡しが終わるまでの初期対応の間、市民センターへ避難者を誘導し、引き渡しが終了してから小学校へ移動してもらうという形をとれないか。児童の安全と避難所としての機能を今の施設で両立させるのは難しいと考える。

執行機関 先日お話をいただいてから、どう相談を持ち掛けるか検討している。常磐線に近いエリアにある市民センターはいくつかあるので、統一した対応をもたないだめだと考える。常磐線単独の重大事故か、全体的な災害なのかについても内容は違ってくる。いろいろなケースでどういった対応が必要なのか、重要なことであり今後詰めていきたい。

____委員 引き渡しが終了するまでは一般の避難者の方は引き受けにくい。数人になってしまえば職員室で対応できるため、受け入れできると考えている。

執行機関 今後、検討させていただく。

____委員 住民の会でも防災について見直しを進めている。実際に大震災があった場合、小学校と市民センターが避難所になっているが、地域の方が避難したかどうか町内会長がどう把握するのかというのが一番問題だと考えている。小さく

まとまっている町内会では改善センターに集まって町内会長が把握することが出来るが、広い地域は各々がセンターに避難してきたら町内会長は把握することが難しい。4、5か所でも安全に集まれる場所があれば、とりあえず集まってもらい、代表の方が避難してきていない方の把握をできる。一次避難所の指定を町内会長と決めていきたいと考えている。大規模震災になれば学校や市の職員はすぐには来られない。地元の協力が必要となる。そういったことも覚書としてまとめている。避難してきた場合誰が受け付けるか、子供や年配の方がいるか、ペットを連れてきたい方もいるかと思う。色々な問題が出てくることを想定して住民の会でも見直していきたいと考えている。センターでも協力をお願いしたい。

___委員　　そういう時に大切なのは、火と水だと思う。新しい小学校では防災炉というものが設置されていて、井戸水もポンプ式ではなく停電時に使える手動のものが設置されている。水は飲料水以外にも手洗いなどに必要だが、飲み水以外の確保はどうなっているか。

執行機関　センターには大きなタンク、プールのようなものだが、それに給水車から給水して使用するようになっているものが配置されている。

___委員　　地区内には井戸を持っている方が多くいる。農家も多いため食べ物などは補給できると考えている。ただ、震災時に井戸水が飲める状態がどうかはわからない。初期段階の飲み水は別に確保しておく必要がある。

執行機関　井戸水の水質検査は行われている。飲める飲めないの区別はできている。

___委員　　震災があったときにどの程度濁りがでるか問題と考えている。
井戸の登録をさせていただいている方はたくさんいる。

執行機関　井戸の登録の地図がセンターに掲示してあるので確認していただきたい。
___委員　　手を洗ったりトイレに流したりする水は学校にプールがあるのでなんとかなる。

___委員　　最近でもこれだけの大雨が降っており、震災は他人ごとではないと考えている。

___委員　　私の地区に福祉施設があり、飲み水や手洗いの水など揃っている。近くのお宅にも井戸があり助かっている。落ち着いたら市民センターへ顔を出してほしいと申し合わせている。

___委員　　震災後にできたしっかりした建物で、一時避難に使わせていただきたいと考えている。

___委員　　自宅が子どもの安全を守る家になっているが、東日本大震災の時子どもが何人かきて、保護者が迎えにくるまで預かった。子どもたちもきちんとわかっていて、知っているところで動かずに待つということを徹底していた。

___委員　　万が一困ったときは相談できる所だと教えている。

____議長 他に質問はないか諮り，異議なしの発言あり。(議長：承認の旨の発言)
引き続き協議(3)について，執行機関に説明を求める。

執行機関 協議(3)その他についての説明

- ・市民センター土曜日の執務体制の見直しについて説明

平成31年4月から体制の見直しを図っていきたいということで，いろいろな御意見をいただいているところだ。運営審議会でも御意見はいただいております，状況を皆様にも御認識いただきたい。

(資料 市民センターにおける土曜執務体制の見直しについて)

- ・新規定期講座の開設について説明

女性教養講座として開催したものが好評であり，定期講座にするということでまとまった。

____議長 他に質問はないか諮り，異議なしの発言あり。(議長：承認の旨の発言)

____議長 他に質問はないか諮り，意見がないことを確認した後，質疑を打ち切り，閉会を宣する。